

取手市小中学校 PTA 連絡協議会

取手市P連通信 No.14

8月19日 県南地区PTA・子育てネットワーク委員会合同研修会

牛久市中央生涯学習センターにて行われた研修会に市内各校 PTA の皆さんと参加しました。

この研修会は講演と実践発表の2部構成となっており、講演では、子ども食堂等の運営に携わっている NPO 法人コモンズ大野先生と、茨城県ひきこもり支援センターの運営を委託されている一般社団法人アイネットの浅沼先生からのお話をお聞きました。

大野先生からは、子どもを取り巻く社会状況として、子どもの孤立化・地域の子育て力の低下・子育て世帯の困窮化（子どもの貧困）が目立つ様になった他、ヤングケアラーも多くなっている事が問題となっております。そこで、主に市民ボランティアが主体となり、無料または低価格帯で子ども達などに食事を提供する「子ども食堂」が全国的に普及していて、子ども食堂という場所は、食事を提供するだけでなく、子どもの居場所づくりとしての目的があるそうです。

このような子ども食堂は、小学校区に1つある事が理想ですが、現在、茨城県では充足率 24.15%との事です。（取手市では7か所）そこで、子ども食堂を開設していただける方、又は応援をして頂ける方は、是非ともご協力をお願いしたいとの事でした。詳しくは、「子ども食堂サポートセンターいばらき」<https://www.kodomo-ibaraki.net/>でご確認ください。

そして、浅沼先生からは、ひきこもり問題についてお話があり、現在のひきこもり者数は、実地調査が行われた秋田県藤里町では人口 3,800 人の内、113 人（8.74%）だったそうです。また、不登校とひきこもりの連続性を考えると、小中高大、いずれかで不登校を経験した人は 61.4%だそうです。この事から、不登校とひきこもりには連続性がある事が分かります。もし、その様な悩みがある場合には、出来るだけ早く相談する事が大切です。茨城県ひきこもり相談支援センターは、アイネットに委託してから、全国に比べて相談件数が多く、相談しやすい支援センターとなっております。電話の他に、メール・LINE でも相談できます。「茨城県ひきこもり相談支援センター」<https://ibahiki.org/> ※LINE は相談支援センターリーフレット内にあります。

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/seiho/sodan/seishin/homepage-file/documents/hiki-leaf.pdf>

第2部の実践発表では、石岡市 P 連から、PTA 指導者研修会を対話型研修会の形として、これからの PTA の在り方をみんなで考えていき、様々な事業の見直しを図っていくとの発表がありました。

つくばみらい市 P 連からは、今研修会と同日に開催されている P 連主催の「義務教育フォーラム」についてビデオ発表があり、フォーラム4つの柱として、1.Mirai ワークショップ 2.市長・教育長による講演 3.学校 PR 4.サイエンススクエアで構成され、是非ともライブ映像を見たかった催し物でした。

土浦市・石岡市・かすみがうら市合同での子育てネットワーク委員会からの発表では、3市でアンケートを取り、コロナ禍はマイナス面が多いとの結果が出ました。子育てネットワーク委員会も現状に合わせて、活動内容の見直しを行っていくべきではないかとの提案がありました。

最後に、県南教育事務所大久保先生より、これからの PTA は、Community（地域）を入れた、「PTCA」を目指す事が理想であるとお話をいただきました。

このような研修会では、文章では中々伝えられない事が多くあり、是非とも多くの会員の皆様に参加していただきたく思いますので、ご興味がある方は、各校 PTA 本部までお問合せいただければ幸いです。

市 P 連会長 鈴木裕